

なかつがわ

市の花 サラサドウダン

令和7年 中津川市議会9月定例会

令和7年度 市民国際交流「中学生タイ研修」

令和7年8月15日～8月20日

派遣先/タイ王国(東北部ウドンターニー県他)

国名/タイ王国 首都バンコク 面積/51万km² 人口/6605万人 通貨/バーツ 日本との時差/2時間



食事で交流



タイ×日本綱引き交流



民族舞踊と歌の研修



仏教寺院にて研修

目次

議案	②
予算決算委員会報告	④
令和6年度決算認定	⑤
常任委員会報告	⑨
特別委員会報告	⑪
一般質問	⑫
編集後記他	⑯

トピックス

- 令和6年度の決算を認定しました(5ページ)
- 市民と議会の対話集会の実施日と内容が決まりました(8ページ)
- 常任委員会の所管事務調査が実施されました(9～10ページ)
- 特別委員会の中間報告があり、議員定数等特別委員会では、議員の定数と報酬額について議論が進められています(11ページ)

	議案番号	件名	委員会審査		議決結果
			付託	審査結果	
補正 予算	議第53号	令和7年度中津川市一般会計補正予算（第4号）	予	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第54号	令和7年度中津川市国民健康保険事業会計補正予算（第1号）	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第55号	令和7年度中津川市介護保険事業会計補正予算（第1号）	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第56号	令和7年度中津川市水道事業会計補正予算（第2号）	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第57号	令和7年度中津川市病院事業会計補正予算（第1号）	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
決算	認第1号	令和6年度中津川市一般会計決算の認定について	予	認定 (賛成多数)	認定 (賛成多数)
	認第2号	令和6年度中津川市国民健康保険事業会計決算の認定について	予	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
	認第3号	令和6年度中津川市駅前駐車場事業会計決算の認定について	予	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
	認第4号	令和6年度中津川市介護保険事業会計決算の認定について	予	認定 (賛成多数)	認定 (賛成多数)
	認第5号	令和6年度中津川市後期高齢者医療事業会計決算の認定について	予	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
	認第6号	令和6年度中津川市水道事業会計決算の認定について	予	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
	認第7号	令和6年度中津川市下水道事業会計決算の認定について	予	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
	認第8号	令和6年度中津川市病院事業会計決算の認定について	予	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会

賛否が分かれた議案の議決結果

議案	氏名	中津川自民クラブ											公明	市民ク	共産	9	コ	ネ	議決 結果		
		鷹見 憲二	勝 彰	岡岡 隆彦	吉村 浩平	吉村 俊廣	島崎 保人	長谷川 孝志	宮崎 透	林 友義	小池 菜摘	田口 文数	糸魚 伸一	榎松 直子	松岡 誠	木下 律子	田中 愛子	鷹見 信義		牛田 敬一	黒田 とろ
議第53号	令和7年度中津川市一般会計補正予算(第4号)	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	可決
議第61号	中津川市保育所の設置等に関する条例及び中津川市認定こども園の設置等に関する条例の一部改正について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	可決
議第65号	工事の委託に関する協定の変更について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	可決
議第67号	市道路線の変更について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	可決
認第1号	令和6年度中津川市一般会計決算の認定について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	退席	賛	認定
認第4号	令和6年度中津川市介護保険事業会計決算の認定について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	否	退席	賛	認定
請願第5号	〔中津川市〕の医療体制の充実に関する請願	否	否	否	否	否	議長	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	賛	否	否	否	不採択

※決算認定議案に対し、牛田敬一議員は監査委員のため自主的に退席しました。

※公明：市議会公明党、市民ク：市民クラブ、共産：日本共産党、9：中津川9の会、ネ：市民ネット

9月定例会

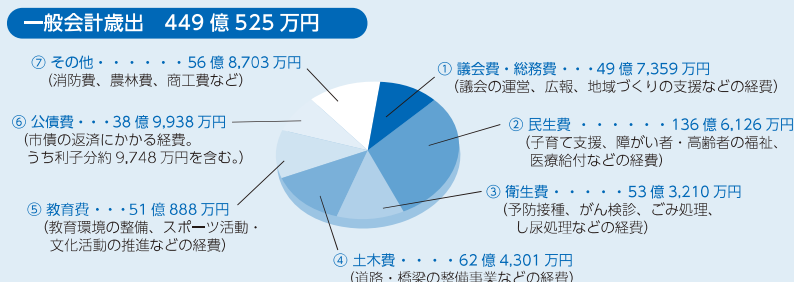
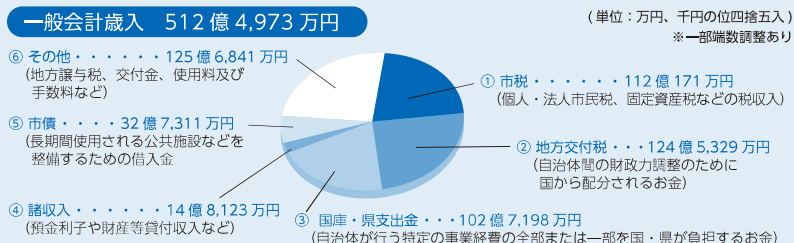
議案の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください



	議案番号	件名	委員会審査		議決結果
			付託	審査結果	
報告	報第6号	専決処分の承認を求めることについて	—	—	承認 (全会一致)
	報第7号	健全化判断比率の報告について	—	—	—
	報第8号	資金不足比率の報告について	—	—	—
条例	議第58号	中津川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第59号	中津川市職員の育児休業等に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第60号	中津川市税条例の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第61号	中津川市保育所の設置等に関する条例及び中津川市認定こども園の設置等に関する条例の一部改正について	文	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第62号	中津川市市営住宅条例の一部改正について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第63号	中津川市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	—	同意 (全会一致)
人事	議第64号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	—	可決 (全会一致)
その他	議第65号	工事の委託に関する協定の変更について	産	可決 (全会一致)	可決 (賛成多数)
	議第66号	岐阜県市町村会館組合規約の変更について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第67号	市道路線の変更について	産	可決 (全会一致)	可決 (賛成多数)
	議第68号	市道路線の変更について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第69号	市道路線の廃止について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第70-76号	指定管理者の指定について	文・産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第78号	岐阜県市町村会館組合の解散及び財産処分並びに事務の承継等について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第79-82号	工事請負契約の締結について	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	請願第5号	請願書「中津川市の医療体制の充実に関する請願」(令和7年第3回中津川市議会「定例会」継続審査事件)	文	不採択 (賛成少数)	不採択 (賛成少数)
	陳情第6号	公共施設内での労組加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情	総	—	—
議会 提案	議第77号	地方自治法第180条第1項の規定による市長の専決処分事項の指定について	—	—	可決 (全会一致)

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会

===== 令和6年度決算を認定 =====



各会計の決算額

会 計 名	令和6年度決算額	令和5年度決算額	増 減 額
一般会計	44,905,247	45,252,781	▲ 347,534
国民健康保険事業会計 (直診診療施設勘定)	275,594	262,516	13,078
国民健康保険事業会計 (事業勘定)	6,447,916	6,542,082	▲ 94,166
駅前駐車場事業会計	18,596	17,327	1,269
介護保険事業会計	8,979,455	8,761,648	217,807
後期高齢者医療事業会計	1,358,039	1,262,676	95,363
水道事業会計	4,011,207	4,088,364	▲ 77,157
下水道事業会計	5,381,853	5,275,205	106,648
病院事業会計	11,816,675	10,954,934	861,741
計	83,194,582	82,417,533	777,049

健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率・資金不足比率を公表するもので、中津川市の財政は健全化どうかを早期健全化基準と比較して判断します。

(単位：%)

	令和6年度	早期健全化基準	財政再生基準	令和5年度	令和4年度
実質赤字比率	—	12.11	20.00	—	—
連結実質赤字比率	—	17.11	30.00	—	—
実質公債費比率	7.1	25.0	35.0	6.9	6.7
将来負担比率	—	350.0	基準なし	—	—

※各基準を上回ると財政健全化計画を策定し、財政再建に取組む必要があります。

※表内の「—」は実質赤字、将来負担がないことを示しています。

・令和6年度決算における各比率は、すべて早期健全化基準を下回っており、財政状況は「健全」と言えます。
 ・実質公債費比率は7.1%で、令和5年度の比率6.9%と比較して0.2ポイント上がりました。
 ・主な要因として、令和3年度単年度数値と比較して元利償還金及び準元利償還金は1.1億円減少しているものの、特定財源が1.1億円、元利償還金及び準元利償還金に対する普通交付税算入額が1.5億円それぞれ減少したことによるものです。

予算決算委員会報告 (補正予算)

補正予算の概要

補正予算の詳細につきましては、市ホームページの9月補正【概要】をご覧ください。



■ 9月補正予算の概要……………11億4,003万9千円

【一般会計】……………7億3,356万4千円

【特別会計】

◇国民健康保険事業会計 (直営診療施設勘定)……………143万円

◇介護保険事業会計 (償還金・基金積立金)……………3億4,104万5千円

【企業会計】

◇水道事業会計……………6,200万円

◇病院事業会計……………200万円

◀主な事業▶

◀物価高騰対策>……………68万8千円

◇小中学校の給食2か月相当分を無償化等 (歳入減額6,288万6千円)

◀国・県補助金を活用>……………2億2,308万3千円

◇児童手当不足分…対象人数及び支給見込み額が既決予算を上回る見込みのため

◇畜産農家支援…送風機、牛の分娩監視システム導入、飼料用機械導入

◇病児保育事業とICTシステム導入を支援 (法人保育所事業)……………他3件

◀寄付金を財源とした備品購入>……………711万8千円

◇小中学校備品購入等・教育講演会の実施・発達支援センターの教育用備品購入等……………他2件

◀緊急対応>……………3億2,074万6千円

◇新型コロナワクチンの定期接種 (65歳以上)

◇中津川西部テクノパークの用地購入 (5.89ha)

◇付知公民館の用地購入 (17,119.08m)……………他7件

◀過年度積算分>……………5億8,840万4千円

専決処分の報告

■ 令和7年7月30日専決……………6,560万8千円

●7月3日・10日の落雷・豪雨により被災した施設等の復旧及び安全対策等

【一般会計】……………5,397万2千円

【企業会計】下水道事業会計……………1,163万6千円

■ 令和7年8月15日専決……………一般会計 1億5,220万円

●7月8日～15日・24日の豪雨・落雷により被災した市道・農業用施設・文化施設などの早期復旧

令和6年度 決算認定における所見

【建設部】

・交通安全施設設置事業

交通弱者の安全対策は、通学路のカラー塗装による明色化や歩道設置などが計画的に実行され、昼間の安全確保が進められています。

一方で交通死傷者の多くは高齢者です。夜間の視認性を高める街路灯の設置や、歩道から容易に車道に立ち入れない工夫など、高齢者に寄り添った取組を進めて下さい。



【環境水道部】

・水道事業

施設や水道管路の老朽化による漏水により有収率は毎年減少し、64.45%（全国平均89.9%）と大変低くなっており、一般会計からの補填が続いています。

上下水道事業審議会での「水道料金改定率30%の料金改定」の答申を受けて、市として水道料金30%増額の方針を決定しました。市民への負担を減らす努力を期待します。

・地球温暖化対策事業

脱炭素社会の実現は喫緊の課題です。当市は地球温暖化対策として、住宅用太陽光発電の補助事業を平成12年度から進め、令和6年度までに2,121件2億1,837万円を補助しました。最近では木質バイオマスストーブや蓄電システムの補助等521件4,555万円補助。その結果、削減した炭素は7,047tにも。引き続き取組を進めていただきたいです。

【市民部】

・中津川に住もうサポート事業

全体としては目標としている移住者数に遠く及ばず、令和5年度よりも厳しい結果となりました。リニア中央新幹線（仮称）岐阜県駅が設置されるアドバンテージを最大限にPRして、選んでもらえる中津川・住み続けたい中津川を目指して、引き続きの取組に期待します。

【リニア都市政策部】

リニア駅周辺土地区画整理事業は整備率が35.2%となり、令和11年の完了に向けて着々と進んでいます。リニア駅周辺整備事業では、いよいよエリアデザインの検討が本格化し、国や県との連携も重要な段階に差し掛かっています。進捗状況の情報発信を、市民にとってわかりやすい形でこまめにお願いします。次世代交通研究事業も併せ、10年後の中津川市の中心的インフラとしての役割を充分に果たすための検討を期待します。

【消防本部】

計画的な車両等の更新により、災害対応能力が向上したことを評価します。全国的には温暖化の影響で大雨災害が頻発しています。特に中津川市は地形、地質などの観点から豪雨による河川の氾濫、土石流災害などが懸念されます。676kmと広い中津川市では自然災害の対応には消防団員の存在が不可欠ですが、消防団員は減り続けています。消防団員の確保には、活動環境の改善などが重要と考えます。出動手当や訓練の内容などを検討する必要があると考えます。

【文化スポーツ部】

・スポーツ政策事業

スポーツは、市民の健康増進や地域住民の交流の場として欠かせないものです。近年は少子化だけでなく、コロナ禍を契機とした地域のスポーツイベントの縮小や、中学生の部活動が任意加入になったことで、競技人口の減少が進んでいます。今後も市民からオリンピックなど国内外で活躍する選手が誕生するような環境づくりと、更なる「一市民1スポーツ」の推進をお願いします。

令和6年度 決算認定における所見

【市長公室】

・職員研修費

階層別や接遇など様々な研修により、職員自身のステップアップや、市民の評価に繋がっていると思います。今後の少子高齢化による労働力不足が予想される中で、質の高い業務を遂行するためには、業務のムリ・ムダ・ムラを取り除く能力も必要と考えます。働き方改革に向けた更なる取組を期待します。

・総合政策事務事業

市の将来都市像を実現させるには、最上位計画である総合計画後期事業実施計画の確実な遂行が欠かせません。令和6年度は委員と関係各課が一同に会し、事業の評価・検証および現地調査を実施し、分野横断した連携の強化ができました。次期総合計画の策定にあたっては、小中学生や高校生などの若い世代から意見聴取もできました。どうか若い皆さんが希望もてる中津川市の実現に向けた確実な取組をお願いします。

【教育委員会】

・児童発達支援事業

障がい児や発達の気になる児童に対しては、「早期発見・早期療育」により、発達が促されます。つくしんぼ・どんぐりの両発達支援センターでの専門的指導は、保護者の方にとっても、近いところで安心して療育が受けられる場となっています。また保育所等の訪問事業での早期発見も重要です。これからもきめ細やかかつ丁寧な対応で、子どもたちだけでなく保護者の方にとっても頼りになる支援センターの運営を期待します。

・放課後児童クラブ運営事業

昨今、ますます共働き家庭が増えていく中、放課後の子どもたちの居場所である学童保育所は、その必要性・役割共に大きくなってきています。一方、どの学童保育所にとっても、指導員不足は大きな課題で、指導員の待遇改善も求められます。子どもたちが放課後、安心安全でいられる居場所、過ごしやすい場所になるよう一層ご尽力願います。

【総務部】

・マスタープラン推進事業

当事業は令和5年度に見直しが行われました。市有財産運用管理マスタープランの推進で、令和6年度は施設の統廃合再編等、土地の売却により成果をあげました。財政負担の軽減・平準化、堅実な行財政運営を行うには、マスタープランの確実な推進が必要です。課題は多くありますが、全庁をあげての取組をお願いします。

【医療福祉部】

・子ども医療費助成事業

令和6年度から子ども医療費助成事業として市独自事業の対象年齢を18歳までに拡充して実施しました。

効果として、医療費を助成することで、健康の保持と子育て世帯の経済的負担の軽減が図られ、安心して子育てができる環境の向上につながりました。

【病院局】（病院事業会計）

入院患者数は延べで令和5年度より3,995人増加。外来患者数も延べで令和5年度より7,906人増加。経営状況では令和6年度損失が5億4,363万円でした。職員体制では、医師2名増員し、看護師10人減員しました。引き続き医師と看護師等を確保し、東濃東部の中核病院として役割を果たしていただきたいです。

・国保坂下診療所

外来患者数は令和5年度より1日平均5.8人減少しました。経営状況は約2億3千万円の赤字となりました。地域医療の拠点病院となるために医療法人による民間譲渡を目指しました。



常任委員会報告

政策提言書の
詳細はこちら
から→



◆総務企画委員会【所管事務調査】（市民部）

7月10日

○「当市の魅力を活かした移住定住について」現状と課題を調査しました。

現状・課題

当市は令和7年4月末時点の人口が72,950人で、平成7年の85,387人をピークに減り続け、2050年には6万人を切るとされています。

今後の対応

令和4年4月に移住定住コーディネーターを雇用し、同年10月からワーカーサポートセンターに常駐しています。

東京や大阪名古屋で開催する移住フェアへ、中津川市単独・共同などで出展をします。国も推進している二地域居住など、リニアのアドバンテージを最大限に活かした取組を行っていきます。

◆総務企画委員会【所管事務調査】（総務部）

7月31日

○「DX戦略の現状課題及び今後について」現状と課題を調査しました。

現状・課題

中津川市DX計画は、単なるデジタル化を目的とするのではなく、住民を中心に考えることを第一に、多様な生活スタイルに寄り添える地域社会の実現を図るよう、人々が輝くまち中津川を基本的な目指す姿として取り組みを進めています。

今後の対応

フロントヤード改革は重要施策として進めていきます。窓口対応職員の育成計画は、中津川市人材育成基本方針を定めており、それに沿って職員の人材育成を行っていきます。

◆文教民生委員会【所管事務調査】（医療福祉部）

7月15日

○「市民の健康づくりについて」調査しました。

現状・課題

1.食生活（高血圧対策）

- ①阿木地区減塩プロジェクトの成果と「減塩大作戦」の取り組みを名古屋大学と連携して行っています。
 - ②新規人工透析患者の減少を目指して、糖尿病性腎症及び慢性腎臓病（CKD）重症化予防に取り組んでいます。
- どちらも、市民の方に病気を知って理解していただき予防策としての「減塩」に取り組んでいただけるかが課題です。

2.医療（歯科検診・歯周病予防対策）

歯周病の実態を知っていただき、治療歯科から予防歯科へと意識改革とライフステージにあった歯科検診受診につなげることができるかが課題です。

【商工観光部】

JR中津川駅前の中津川の玄関と言われ、中心市街地は中津川の顔と言われています。昭和52年に駅前再整備事業が実施されました。48年が経過し、時代背景の変化の中で駅前の再々整備が必要とされています。令和6年度は「にぎわいプラザ跡地活用検討委員会」にて駅前の方向性について検討されました。中津川市の発展のためには、駅前の再々整備は重要な課題です。今後は、にぎわいプラザの解体と跡地利用、市民から要望が出ている駅前ロータリー改良整備など積極的に推進することが大切と考えます。



▲駅前



【農林部】

様々な支援メニューに対応いただいています。提出書類の煩雑さが生産者にとって負担となる制度では本末転倒です。ぜひ、生産者ファーストで制度を整えていただき、可能な限り簡便に利用できる支援の拡充を期待します。

「中津川市の一次産業を守る！」というこだわりを全面に出した取組をお願いします。



▲生産が盛んな夏秋トマト



▲ファーマーズマーケット

令和7年度 市民と議会の対話集会

中津川市議会では毎年「市民と議会の対話集会」を開催しています。

常任委員会ごとに担当する範囲で今年度のテーマを決定し、関連する団体などの方々と懇談することになりました。いただいた意見をもとに課題や改善策を見つけ、行政へ政策提言または申入れを行います。

実施時期・内容

●総務企画委員会

- ▶開催日時・場所：令和7年10月30日（木） 苗木交流センター ホール
- ▶テーマ：市の魅力を活かした移住定住について
- ▶懇談先：市内15地区まちづくり協議会、商工会議所・北商工会のまちづくり部会

●文教民生委員会

- ▶開催日時・場所：令和7年11月6日（木） 苗木交流センター ホール
- ▶テーマ：お口の健康～歯周病予防について～
- ▶懇談先：歯科医師会・市PTA連合会・まあるいこころ

●産業建設委員会

- ▶開催日時・場所：令和7年11月4日（火） 苗木交流センター 会議室1
- ▶テーマ：農業経営の現状と課題について
- ▶懇談先：市内農業者（団体・個人）

「市議会だより なかつがわ」および市議会ホームページで報告します。

特別委員会報告

◆リニア特別委員会「中間報告」

7月11日

- 恵那市議会・中津川市議会リニア関連懇談会において、執行部から提案する資料について確認して承認しました。
- 恵那市議会・中津川市議会リニア関連懇談会の日程を確認しました。
- 濃飛横断道・三市一村議会合同会議について、10月14日に郡上市に開催されること承認しました。
- 中津川市議会・南木曽町特別委員会合同会議の開催について、10月31日に南木曽町で開催されることを承認しました。
- 委員会後に、恵那市議会・中津川市議会リニア関連懇談会を開催して情報交換等を行い、その後完成間近の神坂PAスマートインター工事現場の視察を行いました

◆病院・医療等対策特別委員会「中間報告」

8月8日

中津川市民病院経営強化プラン(案)について

中津川市民病院は平成元年に建設され36年が経過していることから、中津川市民病院の今後の方向性について委員会を開催しました。

- 1) 坂下診療所事業譲渡の結果について(報告)
- 2) 中津川市民病院の現状と課題について

令和5年、6年に実施した建物本体のコンクリート中性化状況調査、外壁調査、配管劣化度調査、電気設備の状況の調査結果報告がありました。合計28か所で調査を実施した結果、更新の検討が必要なD判定が6か所、早急な設備更新が必要なE判定が8か所確認されました。外壁調査では、全体に相当数の劣化が認められ既に剥がれ落ちている箇所もありました。電気設備では日本電機工業会が推奨する更新期間を大幅に超えた設備がありました。

以上のような説明を受け質疑を行った後、閉会としました。

◆議員定数等特別委員会「中間報告」

8月12日

○議員定数・議員報酬額について

議員定数については、「3人減の18人」・「現状維持」・「検討時間が必要」という意見ができました。

議員報酬額については、「東濃圏域を参考にする」・「1割をプラスした金額と考えている」・「定数を3減した場合には金額を上げていい」・「物価上昇等から算出して1割以上の報酬アップが必要である」・「議員定数の削減とのリンクも考えるべき」・「現状維持」という意見が出されました。

費用弁償については、距離の遠いところから通っている議員もおり、公平性にかけるため復活を望む、との意見がありました。

7月1日より7月31日まで議員活動記録をつけ、そのまとめを説明したのち意見を聞きました。

議員定数・議員報酬額・費用弁償について再度会派で検討し、議員定数については9月の定例会中には意見を決定していくこととしました。

9月16日

議員定数について再度削減数やその根拠も含めて会派の意見を確認し、「3人減の18人」・「現状維持」の2案が出ました。

議員報酬・費用弁償について各会派からは、「議員18名となった場合」・「物価高」・「他市の状況」・「30年間報酬が変わっていないこと」・「現状維持」との意見がありました。

各委員からは「全国平均」・「近隣市」・「財政力」等を参考にするという意見があり、それを踏まえ専門家に話を聞くことにしました。

常任委員会報告

政策提言書の
詳細はこちら
から→



◆文教民生委員会【所管事務調査】(文化スポーツ部)

8月6日

○「一市民1スポーツの取組について」調査しました。

現状・課題

中津川市が令和6年度に実施した「市民意識調査」では、週1回以上スポーツを実施している市民の割合は41.8%で、県平均や全国平均と比較すると低い水準にあります。中津川市のスポーツ推進計画での目標65%以上を達成するためには取り組みの強化が必要です。気軽に楽しむスポーツの浸透、継続的な運動習慣の形成、スポーツ施設の質・量・利便性の向上、情報発信、指導者育成、人材確保などが課題です。

◆産業建設委員会【所管事務調査】(農林部)

7月9日

○「農業の後継者対策及び遊休農地の現状と課題について」調査しました。

現状・課題

中津川市の耕地面積は、平成27年度と比較して200ha減少し、基幹的農業従事者においても60歳以上が全体の90%を占めているのが現状で、後継者が減少しています。また、耕作可能となる農地も減少しています。

今後の対応

後継者対策として集落営農法人の設立及びスマート農業の技術の推進、国・県等の補助事業の有効利用などが必要です。遊休農地対策は、農地集積、有害鳥獣対策の推進が必要な状況です。

◆産業建設委員会【所管事務調査】(商工観光部)

7月29日

○「中津川西部テクノパーク計画の現状と課題及び今後について」調査しました。

現状・課題

リニアのつくりだす人流を活かした企業誘致や若者が働きたいと思える企業誘致に取組み、基本計画や進捗状況などを坂本地域へ説明会等を行っています。事業用地取得を現在進めており、令和7年度には24.955haの取得見込みで取得率が85%となります。

今後の対応

造成工事発注の進め方として、近年の発注方式のヒアリングを行い発注していく方針です。用地交渉については令和8年度完了、造成工事は令和9年度～11年度完了、誘致活動は令和11年度まで続けていきます。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は9人の議員が行ないました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。

映像配信はこちらから→



会議録はこちらから→



後継者対策による地域社会・中小企業の持続的発展について

田口 文数

地域経済や地場産業では後継者不足が課題であり、中小企業や農業・伝統産業の廃業リスクが高まり、深刻な問題です。

①平成26年基礎調査では4160事業所でしたが、現在はどれだけありますか。

②平成26年基礎調査では雇用状況は3万5580人でしたが、現在はどれくらいですか。

③三重県モデルのように、後継者不在率を下げ取組を行っているかが教えてください。

④令和3年経済センサス活動調査による市内の事業所数は3606事業所です。

⑤令和3年経済センサス活動調査による市内の従業者数は3万4264人です。

⑥事業承継は、スケールメリットを生かして岐阜県事業承継・引継ぎ支援センターが中心となっており、市として中津川商工会議所や中津川北商工会、金融機関とともに、引き続き、支援センターと連携して取り組んでまいります。(商工観光部長)



中津川駅前の混雑緩和について

松崎 誠

駅前ロータリー周辺は、朝夕の通勤通学時間の混雑が激しく、自家用車が車道のいたる所で停車して乗降を行う事が常態化するなど危険な状態です。建設後、約50年が経過し移動手段が変化しています。安心安全に利用出来るよう、公共交通のスペースを見直し、自家用車専用の乗降場所を設けることや、駅周辺に乗降場所を分散させるなどの対策が必要と考えますが見解を伺います。

朝夕の混雑時には停車スペースが十分でない認識しています。安全に乗降ができる場所の確保は必要と考えます。

駅前スペースの使い方を見直すことで、一層の有効活用が図られると考えます。

駅前ロータリー内の全体的な色分けや、駅前ロータリー以外の場所に乗降場所を設けることも含めて、交通事業者などの意見を踏まえて検討していきます。(商工観光部長)



坂下診療所について

木下 律子

①市長宛の2万3118筆の署名に託した多くの方々が、市の取組を応援しました。どのように受けとめましたか。

②坂下診療所をなくさないで欲しい。診療を続けて欲しい。との訴えがありました。現在の取組状況について伺います。

③内科・眼科・整形外科の3科は残して欲しいと思いますが、いかがですか。

④19床の有床診療所の場合、医師や看護師の体制はどうなりますか。

①大変重く受け止めています。中津川市全体の医療の充実、特に重要だと考えています。

②やさか地域の医療をどう守っていくか検討しています。当面は現状の医療体制のままの運営となります。

③坂下診療所にどういう機能を残すかという具体的な方針は決まっています。

④19床を運営するには、最低医師3名、看護師7名が必要です。(医療福祉部長)



米生産の今後の見通し／地域計画の課題と今後について

林 友義

令和6年米が品薄となり小売価格が急騰し、不安定な米市場が形成されています。

①当市の水田の作付状況、全国的な米不足、米価格高騰の現状を踏まえ、米生産の今後の見通しについて市の見解を伺います。

営農組織や認定農業者を中心に、主食用米の作付面積の拡大が図られ、小規模農家を含め、米の流通が活性化されていくものと考えます。また、遊休農地の解消に繋がることを期待しています。(農林部長)

地域計画は地域の将来の農地利用の姿を明確にする計画で、市は13地区の地域計画を策定しホームページで公表しています。

②地域計画から見えてきた課題を踏まえ、今後の農業施策について市の見解を伺います。

新規就農者や担い手に対し、経営発展への支援等に取組んできたところですが、担い手不足と「農地の点在による集積・集約の難しさ」の課題解決に向け、持続可能な農業の実現を目指して参ります。(市長)



介護予防について

鷹見 信義

要支援者への給付が予防給付となり、市町村が地域支援事業を実施するようになりました。

①市全体で介護予防のサロンや集いはどれだけ行われているか伺います。

②そのサロンや集いは、介護予防にどのように役立っているか伺います。

③地域や施設の介護予防のイベントの費用は、介護予防の必要経費として助成すべきだと考えますが市としての見解を伺います。

①市で把握している月1回以上開催されているサロン等の通いの場合は、令和7年7月1日現在、136か所です。

②介護予防のためには、地域社会への参加を促進することが重要であるとされており、通いの場に参加することで、社会参加の機会も増え、認知症の発症リスク、要介護リスクが低下することなどが一般的に言われております。

③直接費用を助成することは考えていませんが、サロンを立ち上げるための講座の開催や設立、運営に関する個別相談の実施、講師派遣、介護予防サロンの養成等による支援を現在も行っており、今後もこれらの支援を継続してまいります。(医療福祉部長)





黒田とことろ

坂本学校給食共同調理場建設について

問

15年以上の長きにわたり「坂本区民の願い」にあげられてきた坂本学校給食共同調理場の建設が行われています。しかし当初の工期の令和7年8月29日より遅れています。

①変更後の工期10月24日に変更はありませんか
②供用開始の日程について調理員の方と、給食の提供開始とを教えてください。
③福岡小学校に続いての工事の遅れですが、その原因をどのようにとらえていますか。

答

①10月24日の工期で変更はございません。
②10月27日から調理員の方が順次準備を進め、冬休み明けの令和8年1月8日から給食提供を開始します。
③原因について、市が行う業者の処分が必要かどうかも含め、今後精査していくこととなりますが、現時点では工事実施に当たり施工事業者間、並びに施工事業者と下請事業者間の調整不足が最大の要因だと感じています。
(教育委員会事務局長)



糸魚川伸一

誰もが安心して気持ちよく投票できる配慮について

問

選挙権は私たちの代表を選ぶ、大切な権利です。老若男女、障がいのあるなし、男女等を問わず、誰でも安心して投票できる環境づくりが必要だと考えます。次の導入を検討すべきと考え、見解を伺います。

①投票支援カード 投票に支援を必要とする場合、事前に記入し入場券と一緒に手渡す申請書
②コミュニケーションボード(総で描かれたかれた支援の内容を示すもの)。
③投票所に一緒に来場した子ども用の来場記念カード。

答

①入場券に同封することは困難ですが、安心して投票していただける環境を作ること、心大切です。当市においてこういった対応が可能を含め、導入について検討してまいります。

②実施している自治体の事例を参考に、誰でも安心して投票できる環境づくりに向け導入するよう取り組んでまいります。

③費用を抑えた形での取組方法を検討してまいります。
(総務部長)

請願・陳情

請願書 「中津川市の医療体制の充実に関する請願」

(1) 請願の要旨
全国(5.2)及び県(3.8)の平均に比べて少ない中津川市(2)の病院数です。市民が安心して暮らせるよう3病院(中津川市民病院・城山病院・坂下病院)で医療の充実を求めます。

1. 中津川市民病院の中核病院としてのレベルアップを求めます。
2. 純正会による坂下診療所の病院機能復活を図り、中津川市の医療体制の充実を求めます。

文教民生委員会意見

- ・中津川市の医療体制の充実については大いに賛成ですが、個別の病院名が入っており、主旨が今の時点では合致なくなっているため、今後の方針については新たに検討すべきと考えます。
- ・医療の問題は本当に重く受け止めなければいけないと考えていますが、純正会との打ち切りを考えるとこの請願は不採択と考えます。



田中 愛子

高校生の通学補助拡充について

問

①現在の通学補助の内容について伺います。
②中津川市は面積が広く公共交通が不十分です。下呂市や高山市同様に、バス通学以外(保護者による送迎や寮など)の補助範囲の拡大を検討すべきと考えますが所見を伺います。
③中津川市も恵那市同様に家庭負担を一律5千円までとし、通学に大きな負担差が生まれない制度にする必要があると思いますが所見を伺います。

答

①定期券購入額から1か月あたり6千円を控除した額の2分の1を補助しています。
②恵那北高校の統合、廃止に伴い遠距離通学を余儀なくされ、より高額な通学費を負担している家庭への支援を行っています。バス通学以外の補助制度は考えていません。
③恵那市の路線バスは自主運行バスが主体であり、一方、中津川市は幹線となるバス路線は民間の営業路線です。両市は事情が違うので、中津川市に合った補助制度が望ましいと考えます。
(リニア都市政策部長)

「公共施設内で労組加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情」

【陳情項目】

- ①自治労、自治労連等の労働組合(職員組合)に加入・継続にあたり、職員が負担感や心理的圧力を感じていないか、また加入時に十分な説明を受けたかを、職員に寄り添って、調査・確認すること。
- ②庁舎内において、地方議員から職員への政党機関紙の購読勧誘の有無、また勧誘時に心理的圧力が生じていないかを、職員に寄り添って、調査・確認すること。
- ③上記の調査により、心理的圧力や経済的・精神的負担を感じている職員が確認された場合には、行政として適切な是正措置を講じてください。

総務企画委員会所見

自治労等の労働組合(職員組合)への加入は、自由意志に基づく運用がされており、また、政党機関紙の購読勧誘に関しては、中津川市議会では、令和6年12月に「中津川市議会ハラスメント防止条例」を制定しており、職員からの報告や相談はなく、適切な対応がなされていると考えます。

このような状況の中で、議会の立場から執行部に対し調査・確認を求めることは、それ自体が執行部への負担となりがちなことから、差し控えるべきと考えます。



牛田 敬一

災害対策について

問

①指定緊急避難所及び指定避難所となる小中学校の体育館は、学校施設統廃合の方針と地域防災計画で体育館を使用する計画との整合は図られているか伺います。
②以前より消防本部の出入口が1か所しかないことについて、状況を伺います。

答

①市有財産運用管理マスタープランとの整合は図れています。指定避難所は、各地域の公共施設等を指定しておりますが、避難所となっている学校が統廃合等により廃校となる場合は、地域内の他施設や当該施設の今後の活用方針等を考慮し、地域と協議しながら避難所の選定を行います。
②第2出入口につきましては、消防本部前消防センター西側と商工会議所北側駐車場出入口を整備し、ローソン中津川かやの木店東側から旧19号線へ抜けるよう、令和7年度で予算化しています。令和8年1月30日を工期としています。
(総務部長・消防長)



第11回 中津川市中学校 生徒会サミット

令和7年8月22日



メインテーマ『魅力ある学校づくり』



主催 / 中津川市中学生生徒会サミット実行委員会
共催 / 中津川市教育委員会・中津川ライオンズクラブ

議会開催状況

6月27日～10月3日

本会議	(5回)
総務企画委員会	(4回)
文教民生委員会	(5回)
産業建設委員会	(4回)
予算決算委員会	(5回)
議会運営委員会	(6回)
リニア中央新幹線対策特別委員	(1回)
議会改革特別委員会(協議会含む)	(3回)
病院・医療等対策特別委員会	(1回)
議員定数等特別委員会	(2回)
全員協議会	(1回)
議員連絡協議会	(2回)

令和7年12月定例会の日程

11月27日(木)	10時	本会議(初日)
12月8日(月)	10時	一般質問
12月9日(火)	10時	一般質問
12月11日(木)	10時	文教民生委員会
12月12日(金)	10時	産業建設委員会
12月15日(月)	10時	総務企画委員会
12月16日(火)	10時	予算決算委員会
12月22日(月)	10時	本会議(最終日)

編集後記

体温よりも高い気温に頻繁になった、今までにない暑い夏が終わりました。

様々な行事の場面で、熱中症対策も必須でした。それでも9月に入ると、中津川の銘菓栗きんとんが店頭に並び、議場にも「栗のいが」を飾り、秋を感じました。

9月議会は毎年日程が延長され、前年度の予算をどのように執行したかを確認する決算に対する認定をする議会です。市民の皆さんの大切な税金の使われ方に、注目しながら審議しました。物価高騰の影響は、市の決算の数字にも表れています。市民の皆さんの生活を守るように議会としても頑張っていきます。